

No.	資料名	時代・時期	形状	説明
1	北野神社神前大鏡裏面之図	原資料:江戸時代初頭	軸装	加藤清正が北野天満宮に奉納した鏡の裏面の拓本 コレクションNo.254
2	日本分形図	寛文6年(1666)	冊子	日本で初めての地図帳。幕府の日本地図を利用している。 コレクションNo.256
3	備後国図(寛永10年国絵図)	原資料:江戸時代	畳物	幕府が初めて作成した日本地図の素材となった国絵図の写し。 コレクションNo.356
4	周防国之図(寛永15年国絵図)	原資料:江戸時代	畳物	幕府の2度目の日本地図作りの素材となった国絵図の写し。 コレクションNo.600
5	日本図(寛永15年日本図)	江戸時代	畳物	島原の乱の後に幕府が作成した日本地図の系統の地図。 コレクションNo.620
6	日本総図(正保日本図)	江戸時代	畳物	江戸時代が始まって半世紀後の、幕府の日本地図の等倍の写し。 コレクションNo.706
パネル	元禄日本総図 東・西	原資料:江戸時代	原資料 畳物	原資料 明治大学図書館 芦田文庫
7	松浦静山識輿地全図 (享保の日本図)	享保20年(1735)頃作, 天明5年(1785)識	畳物	徳川吉宗が製作を命じた日本地図(享保の日本図)の制作過程を 示した地図。コレクションNo.264
8	官板実測日本地図のうち 山陰・山陽・南海・西海	慶応元年(1865)初版, 明治2年(1869)再版	畳物	幕末に幕府が刊行した、伊能忠敬の日本地図の西日本部分。 本図は明治初年に大学南校が刊行した版。コレクションNo.283